

1 乳用牛

(1) 飼養戸数・頭数

平成26年2月1日現在（以下「平成26年」という。）の全国の乳用牛の飼養戸数は1万8,600戸で、廃業等により前年に比べて800戸（4.1%）減少した。

飼養頭数は139万5,000頭で、前年に比べて2万8,000頭（2.0%）減少した。飼養頭数の内訳をみると、経産牛は89万3,400頭で前年に比べて3万頭（3.2%）減少し、未經産牛は50万1,200頭で前年に比べて1,100頭（0.2%）増加した。

なお、1戸当たりの飼養頭数は75.0頭で、前年に比べて1.6頭増加した。

図1 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

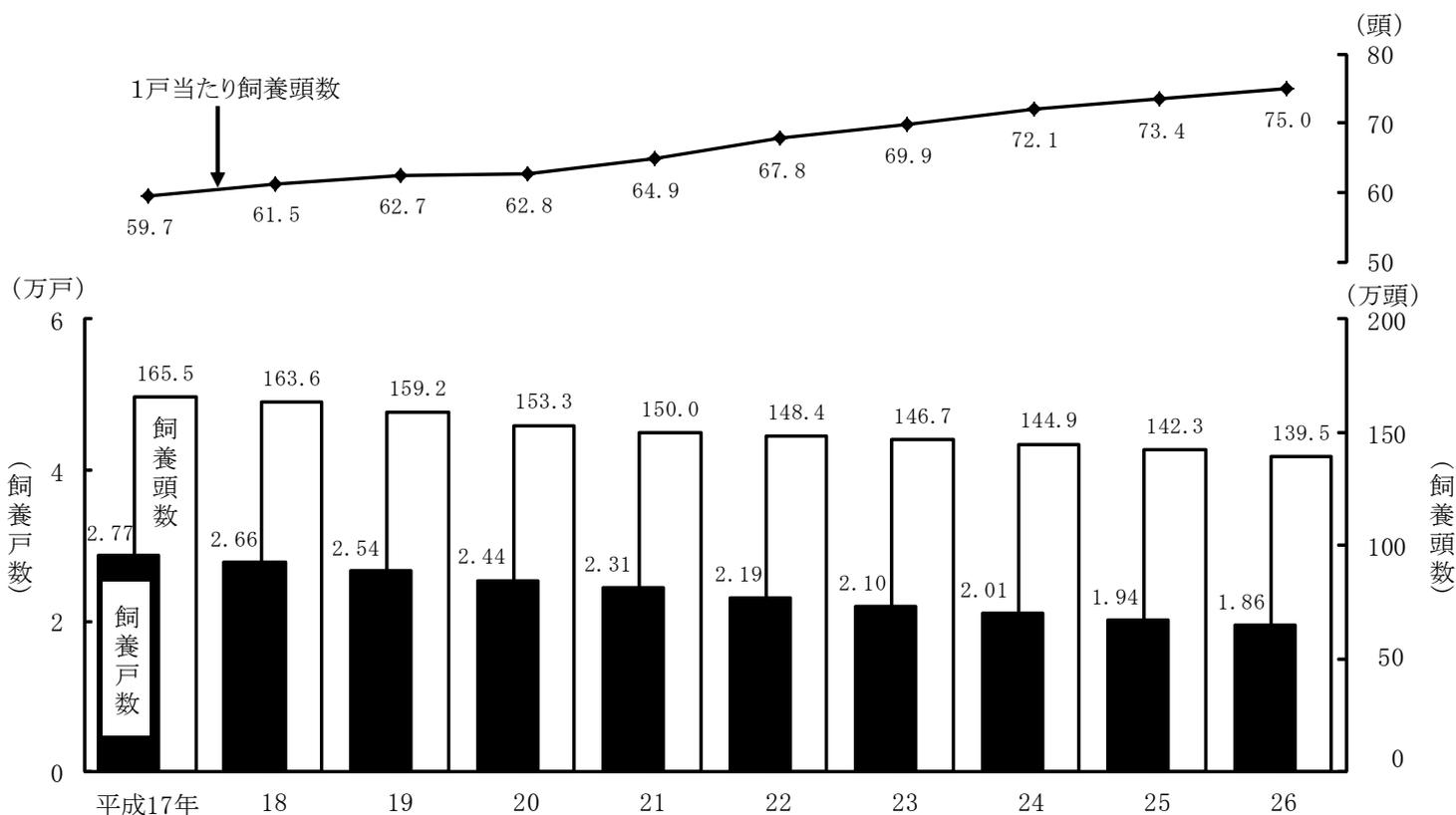


表1 乳用牛の飼養戸数・飼養頭数

区分	飼養戸数	飼養頭数					1戸当たり飼養頭数
		計	経産牛			未經産牛	
			小計	搾乳牛	乾乳牛		
実数	戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭
平成24年	20,100	1,449.0	942.6	812.7	129.9	506.4	72.1
25	19,400	1,423.0	923.4	798.3	125.1	500.1	73.4
26	18,600	1,395.0	893.4	772.5	121.0	501.2	75.0
対前年比							
25/24 (%)	96.5	98.2	98.0	98.2	96.3	98.8	-
26/25	95.9	98.0	96.8	96.8	96.7	100.2	-
構成比							
平成24年 (%)	-	100.0	65.1	56.1	9.0	34.9	-
25	-	100.0	64.9	56.1	8.8	35.1	-
26	-	100.0	64.0	55.4	8.7	35.9	-

(2) 成畜（満2歳以上の牛）飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

乳用牛の飼養戸数・頭数を成畜（満2歳以上の牛）飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下(3)及び(4)において同じ。）にみると、飼養戸数及び飼養頭数ともに前年に比べて80頭～99頭の階層を除く全ての階層で減少した。

また、飼養頭数規模別の飼養頭数割合は、100頭以上の階層が約3割を占めている。

図2 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

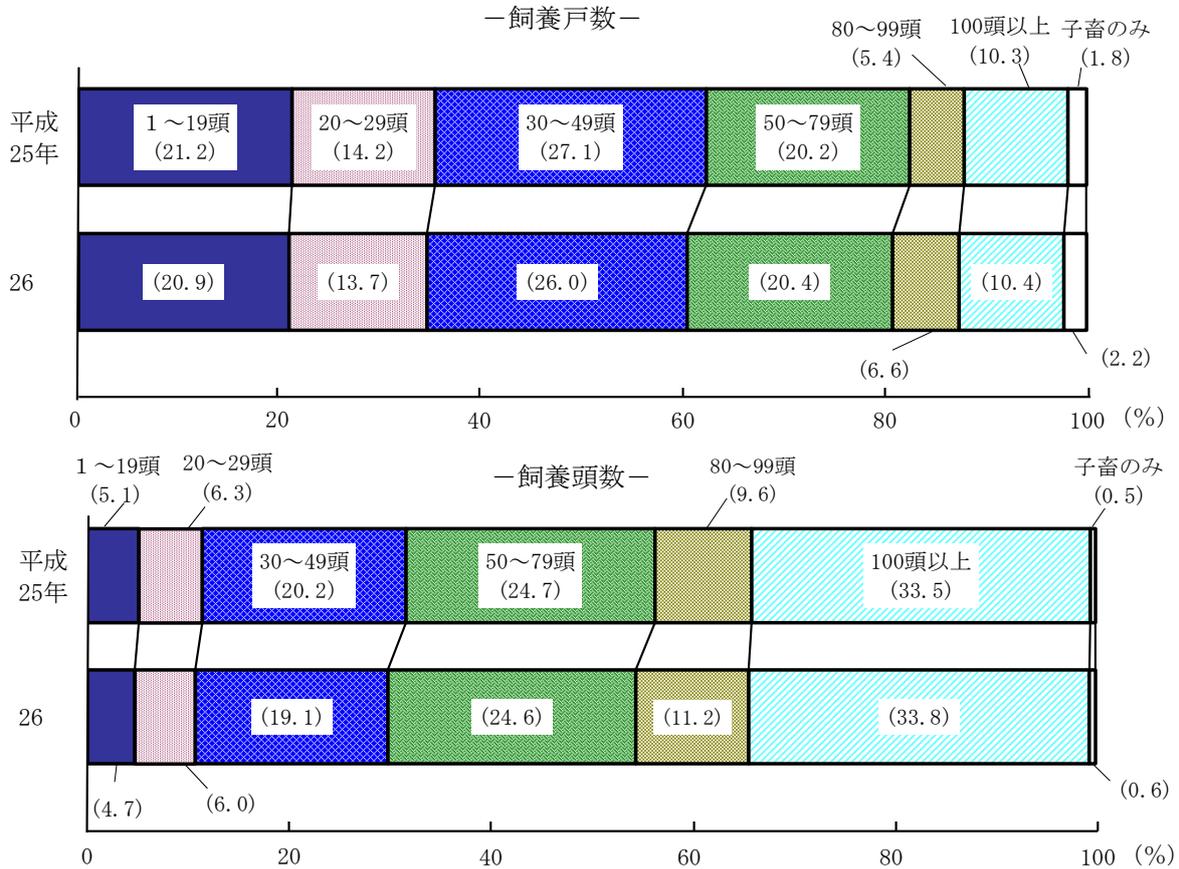


表2 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	成畜頭数規模								子畜のみ	
			小計	1～19頭	20～29	30～49	50～79	80～99	100頭以上	300頭以上		
飼養戸数	実数 平成25年	戸	19,100	18,800	4,050	2,710	5,170	3,860	1,030	1,960	198	347
	26	〃	18,300	17,900	3,820	2,510	4,750	3,730	1,200	1,900	260	397
	対前年比 26/25	%	95.8	95.2	94.3	92.6	91.9	96.6	116.5	96.9	131.3	114.4
	構成比 平成25年	〃	100.0	98.4	21.2	14.2	27.1	20.2	5.4	10.3	1.0	1.8
26	〃	100.0	97.8	20.9	13.7	26.0	20.4	6.6	10.4	1.4	2.2	
飼養頭数	実数 平成25年	千頭	1,392.0	1,384.0	71.5	88.1	281.2	343.2	133.4	467.0	123.2	7.3
	26	〃	1,360.0	1,352.0	63.3	81.7	259.1	335.1	152.5	460.0	140.9	8.2
	対前年比 26/25	%	97.7	97.7	88.5	92.7	92.1	97.6	114.3	98.5	114.4	112.3
	構成比 平成25年	〃	100.0	99.4	5.1	6.3	20.2	24.7	9.6	33.5	8.9	0.5
26	〃	100.0	99.4	4.7	6.0	19.1	24.6	11.2	33.8	10.4	0.6	

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(3) 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

乳用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間（平成25年2月1日から平成26年1月31日まで。以下同じ。）に飼料作物を作付けした戸数は1万5,500戸で、乳用牛飼養者の84.7%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道及び九州において乳用牛飼養者の9割以上が飼料作物を作付けしている。

図3 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合（全国農業地域別）

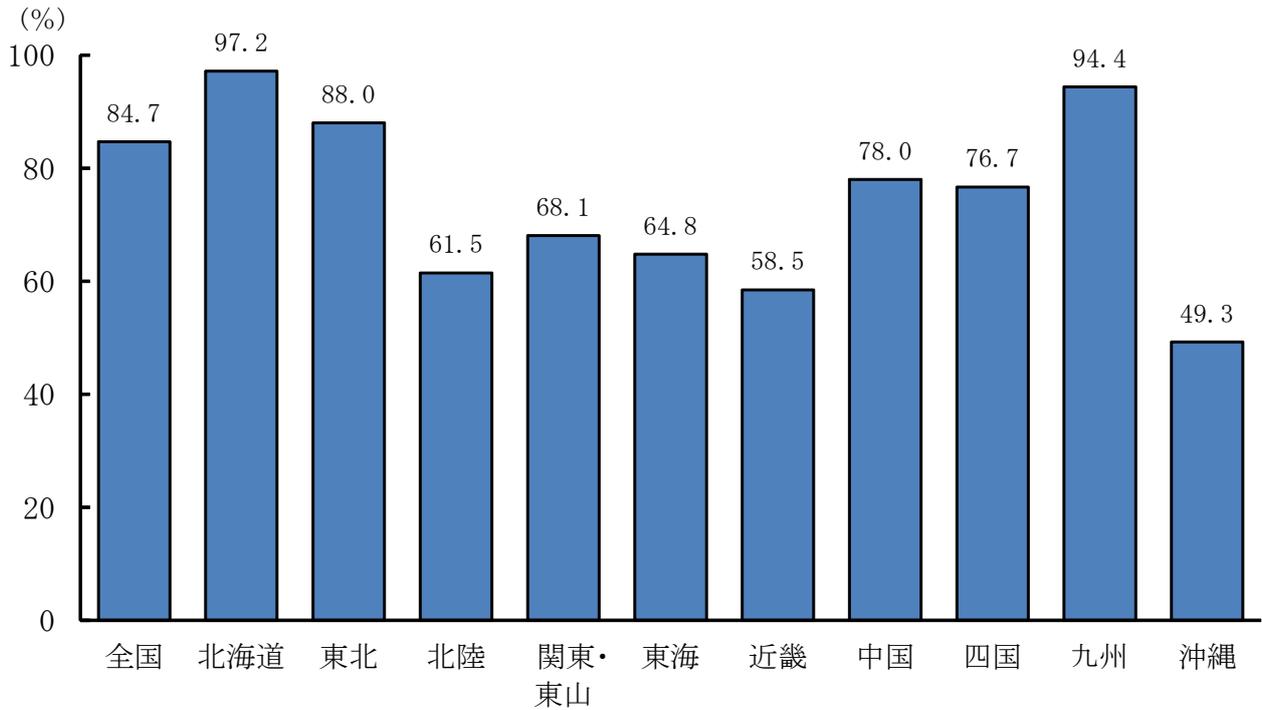


表3 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積（全国農業地域別）

区分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全国	18,300	15,500	84.7	518,600	478,000
北海道	6,850	6,660	97.2	445,100	416,300
東北	2,830	2,490	88.0	31,500	24,700
北陸	377	232	61.5	1,950	1,540
関東・東山	3,670	2,500	68.1	16,600	14,600
東海	824	534	64.8	3,010	2,760
近畿	621	363	58.5	1,300	930
中国	854	666	78.0	4,590	4,070
四国	430	330	76.7	1,160	960
九州	1,780	1,680	94.4	13,100	12,100
沖縄	75	37	49.3	190	120

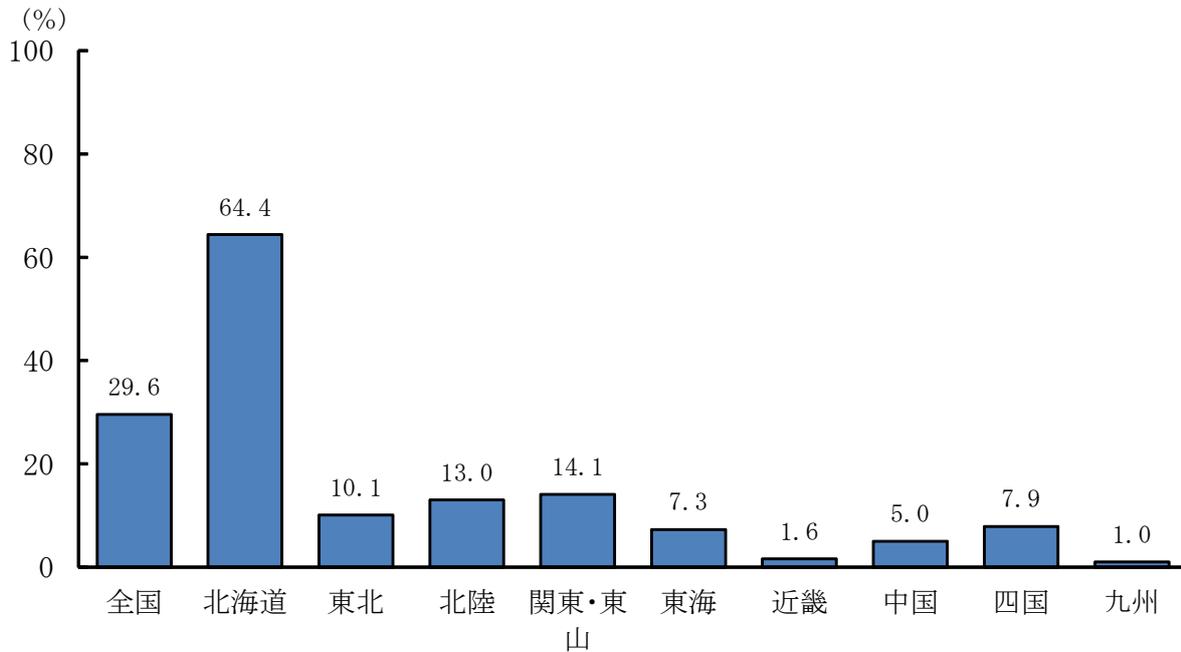
注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(4) 乳用牛の放牧状況

乳用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間に乳用牛の放牧を行った戸数は5,420戸で、乳用牛飼養者の29.6%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では64.4%の乳用牛飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図4 乳用牛飼養者の放牧実施戸数割合（全国農業地域別）



注：沖縄については、放牧している飼養者がいないため、表章していない。

表4 乳用牛の放牧状況（全国農業地域別）

区分	飼養戸数	放牧をしている戸数	放牧実施戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全国	18,300	5,420	29.6	252,000
北海道	6,850	4,410	64.4	234,000
東北	2,830	286	10.1	6,720
北陸	377	49	13.0	360
関東・東山	3,670	518	14.1	7,150
東海	824	60	7.3	1,380
近畿	621	10	1.6	130
中国	854	43	5.0	820
四国	430	34	7.9	520
九州	1,780	18	1.0	950
沖縄	75	-	-	-

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

2 肉用牛

(1) 飼養戸数・頭数

平成26年の全国の肉用牛の飼養戸数は5万7,500戸で、廃業等により前年に比べて3,800戸(6.2%)減少した。

飼養頭数は256万7,000頭で、前年に比べて7万5,000頭(2.8%)減少した。飼養頭数の内訳をみると、肉用種は171万6,000頭で前年に比べて5万3,000頭(3.0%)減少し、乳用種は85万1,400頭で前年に比べて2万2,000頭(2.5%)減少した。

また、乳用種のうち、ホルスタイン種他は36万7,500頭で前年に比べて8,000頭(2.1%)減少し、交雑種(F1牛、F1クロス牛)は48万3,900頭で前年に比べて1万4,000頭(2.8%)減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は、44.6頭で前年に比べて1.5頭増加した。

図5 肉用牛の飼養戸数・頭数の推移

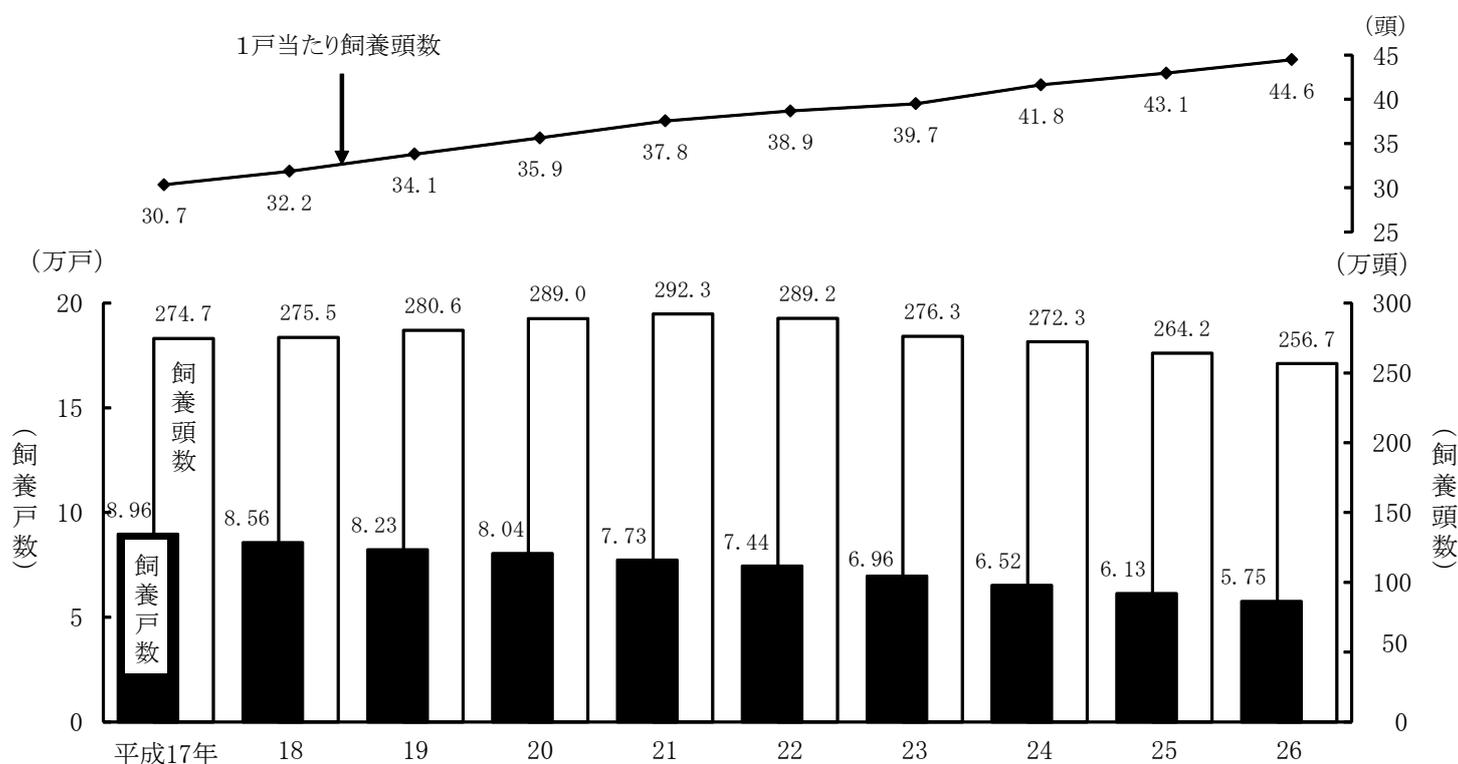


表5 肉用牛の飼養戸数・頭数

区分	飼養戸数	飼 養 頭 数					1戸当たり飼養頭数
		計	肉用種	乳 用 種			
				小 計	ホルスタイン種他	交雑種	
戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭	
実 数							
平成 24年	65,200	2,723.0	1,831.0	891.7	392.5	499.1	41.8
25	61,300	2,642.0	1,769.0	873.4	375.5	497.9	43.1
26	57,500	2,567.0	1,716.0	851.4	367.5	483.9	44.6
対前年比							
25/24 (%)	94.0	97.0	96.6	97.9	95.7	99.8	-
26/25	93.8	97.2	97.0	97.5	97.9	97.2	-
構 成 比							
平成 24年 (%)	-	100.0	67.2	32.7	14.4	18.3	-
25	-	100.0	67.0	33.1	14.2	18.8	-
26	-	100.0	66.8	33.2	14.3	18.9	-

(2) 飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

ア 総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

総飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下イ及びウ並びに(3)及び(4)において同じ。）にみると、飼養戸数は前年に比べて50～99頭の階層で1.3%増加したものの、これ以外の階層で減少した。

また、飼養頭数は前年に比べて全ての階層で減少した。

なお、総飼養頭数規模別の飼養頭数割合は200頭以上の階層で飼養頭数の約5割を占めている。

図6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

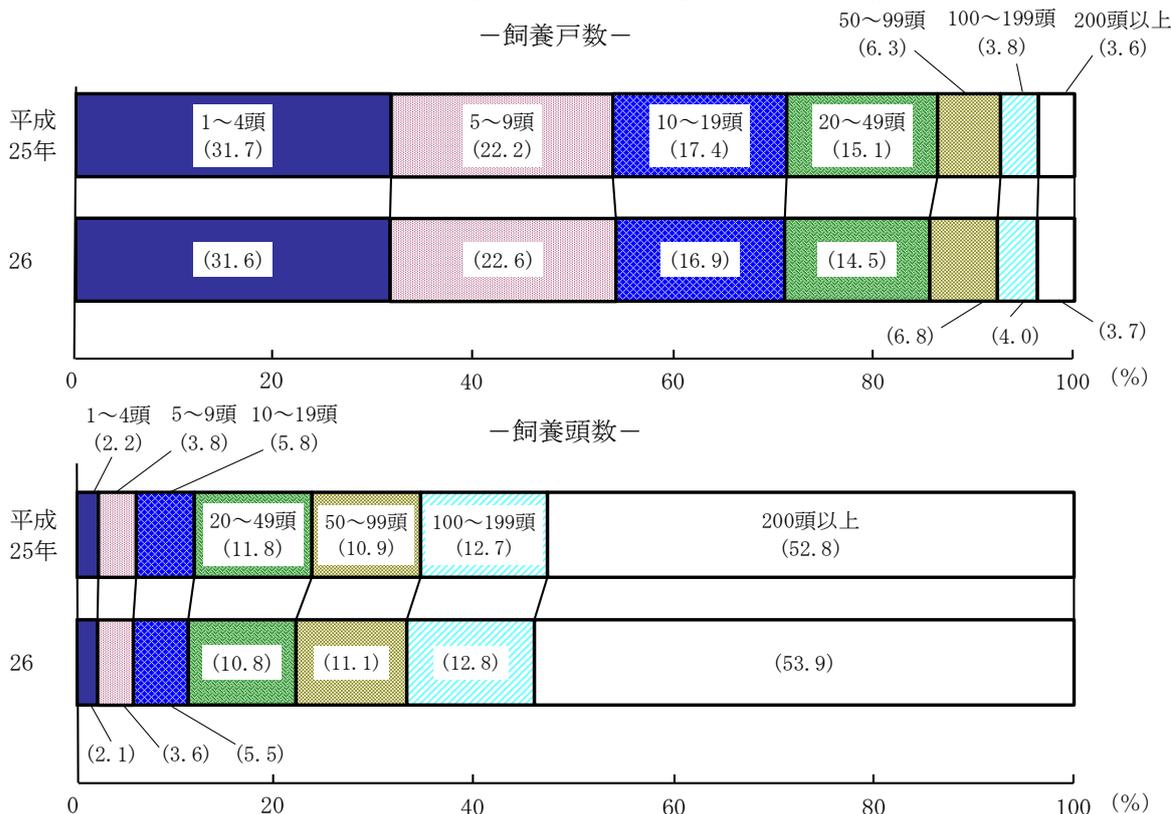


表6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	総飼養頭数規模									
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
飼養戸数	実数 平成25年	戸	60,900	19,300	13,500	10,600	9,190	3,820	2,300	2,190	718
	26	戸	57,200	18,100	12,900	9,680	8,280	3,870	2,270	2,140	715
	対前年比 26/25	%	93.9	93.8	95.6	91.3	90.1	101.3	98.7	97.7	99.6
	構成比 平成25年	戸	100.0	31.7	22.2	17.4	15.1	6.3	3.8	3.6	1.2
26	戸	100.0	31.6	22.6	16.9	14.5	6.8	4.0	3.7	1.3	
飼養頭数	実数 平成25年	千頭	2,618.0	58.4	100.1	152.2	307.7	284.3	333.3	1,382.0	921.7
	26	千頭	2,543.0	52.7	92.8	141.0	275.6	283.5	326.4	1,371.0	915.8
	対前年比 26/25	%	97.1	90.2	92.7	92.6	89.6	99.7	97.9	99.2	99.4
	構成比 平成25年	千頭	100.0	2.2	3.8	5.8	11.8	10.9	12.7	52.8	35.2
26	千頭	100.0	2.1	3.6	5.5	10.8	11.1	12.8	53.9	36.0	

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

イ 肉用種の目的別飼養頭数別飼養戸数

(ア) 子取り用めす牛

肉用種の子取り用めす牛を飼養している戸数は5万戸で、肉用牛飼養戸数の87.4%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて50～99頭及び100頭以上の階層で増加したものの、これ以外の階層では減少した。

表7 子取り用めす牛の飼養頭数規模別飼養戸数

区 分	肉用牛の飼養戸数	子 取 り 用 め す 牛 飼 養 頭 数 規 模								子取り用めす牛なし
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100頭以上		
実 数										
平成 25年	60,900	53,000	25,900	12,100	8,220	5,200	1,190	437	7,920	
26	57,200	50,000	24,000	11,800	7,320	4,910	1,410	501	7,240	
対前年比										
26/25 (%)	93.9	94.3	92.7	97.5	89.1	94.4	118.5	114.6	91.4	
構 成 比										
平成 25年 (%)	100.0	87.0	42.5	19.9	13.5	8.5	2.0	0.7	13.0	
26	100.0	87.4	42.0	20.6	12.8	8.6	2.5	0.9	12.7	

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(イ) 肥育用牛

肉用種の肥育用牛を飼養している戸数は9,660戸で、肉用牛飼養戸数の16.9%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて30～49頭の階層及び100～199頭の階層で増加したものの、これ以外の階層では減少した。

表8 肥育用牛の飼養頭数規模別飼養戸数

区 分	肉用牛の飼養戸数	肥 育 用 牛 飼 養 頭 数 規 模									肥育用牛なし
		計	1～9頭	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
実 数											
平成 25年	60,900	10,000	3,710	1,190	868	912	1,370	1,050	927	257	50,900
26	57,200	9,660	3,480	1,180	732	1,000	1,260	1,100	909	295	47,500
対前年比											
26/25 (%)	93.9	96.6	93.8	99.2	84.3	109.6	92.0	104.8	98.1	114.8	93.3
構 成 比											
平成 25年 (%)	100.0	16.4	6.1	2.0	1.4	1.5	2.2	1.7	1.5	0.4	83.6
26	100.0	16.9	6.1	2.1	1.3	1.7	2.2	1.9	1.6	0.5	83.0

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

ウ 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

肉用の乳用種（乳廃牛は除く。）を飼養している戸数は5,750戸で、肉用牛飼養戸数の10.1%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて1～4頭及び20～49頭の階層で減少したものの、これ以外の階層では増加した。

表9 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

区 分	肉用牛の飼養戸数	乳 用 種 飼 養 頭 数 規 模								乳用種なし
		計	1～4頭	5～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
実 数										
平成 25年	60,900	5,810	2,050	989	653	537	582	1,000	398	55,100
26	57,200	5,750	1,990	993	611	555	583	1,020	418	51,500
対前年比										
26/25 (%)	93.9	99.0	97.1	100.4	93.6	103.4	100.2	102.0	105.0	93.5
構 成 比										
平成 25年 (%)	100.0	9.5	3.4	1.6	1.1	0.9	1.0	1.6	0.7	90.5
26	100.0	10.1	3.5	1.7	1.1	1.0	1.0	1.8	0.7	90.0

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(3) 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付面積の状況

肉用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間に飼料作物を作付けした戸数は4万8,000戸で肉用牛飼養者の83.9%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道及び九州で肉用牛飼養者の約9割が飼料作物を作付けしている。

図7 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合（全国農業地域別）

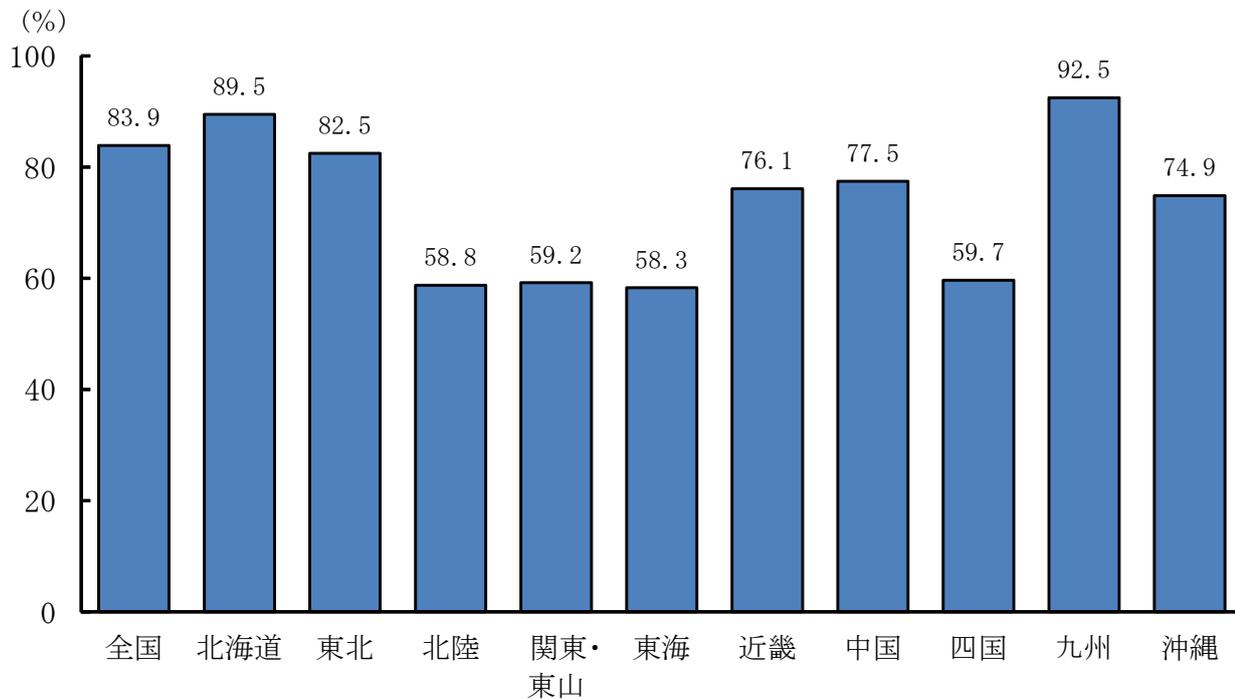


表10 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積（全国農業地域別）

区分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全国	57,200	48,000	83.9	258,700	189,200
北海道	2,660	2,380	89.5	95,400	79,500
東北	15,400	12,700	82.5	64,400	38,200
北陸	442	260	58.8	1,430	780
関東・東山	3,650	2,160	59.2	12,600	8,210
東海	1,320	770	58.3	2,630	1,690
近畿	1,800	1,370	76.1	2,330	1,270
中国	3,200	2,480	77.5	8,290	3,800
四国	827	494	59.7	1,200	690
九州	25,200	23,300	92.5	64,700	50,400
沖縄	2,750	2,060	74.9	5,810	4,650

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(4) 肉用牛の放牧状況

肉用牛飼養者のうち、調査期直前の1年間に肉用牛の放牧を行った戸数は6,830戸で、肉用牛飼養者の11.9%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では45.5%の肉用牛飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図8 肉用牛飼養者の放牧実施戸数割合（全国農業地域別）

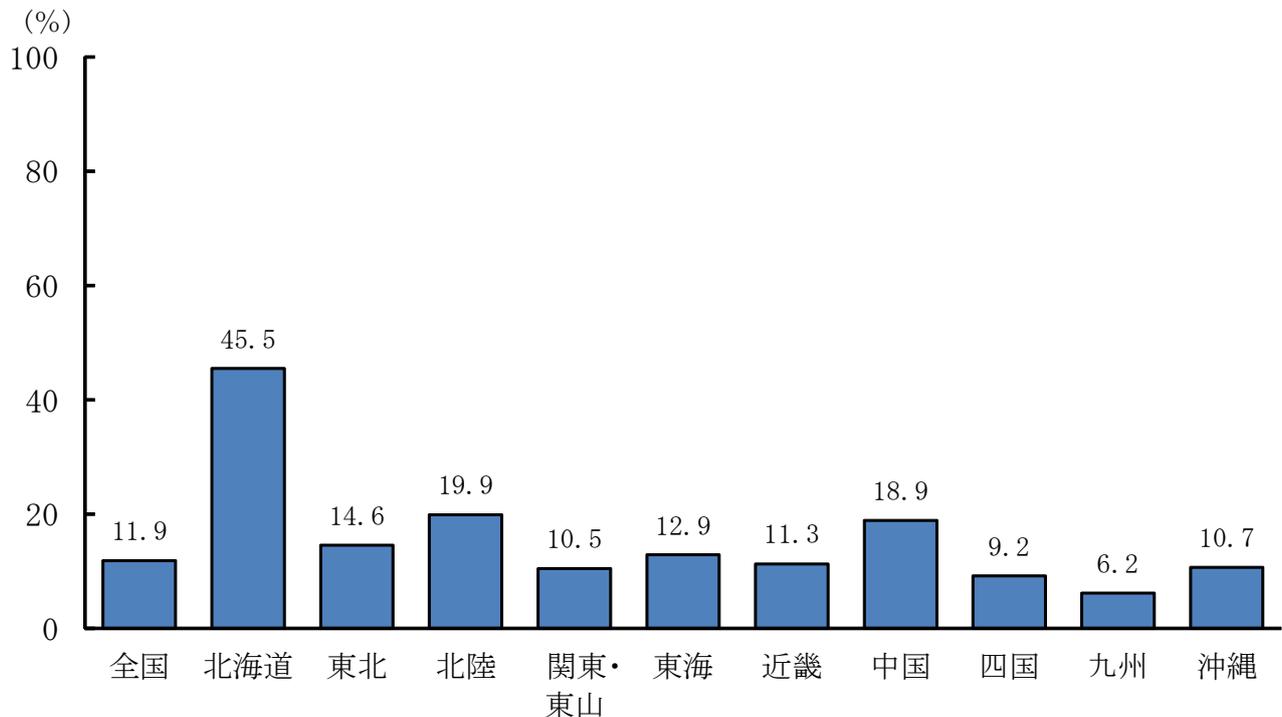


表11 肉用牛の放牧状況（全国農業地域別）

区分	飼養戸数	放牧をしている戸数	放牧実施戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全国	57,200	6,830	11.9	100,300
北海道	2,660	1,210	45.5	41,900
東北	15,400	2,250	14.6	21,700
北陸	442	88	19.9	500
関東・東山	3,650	382	10.5	3,230
東海	1,320	170	12.9	1,310
近畿	1,800	203	11.3	1,600
中国	3,200	605	18.9	6,200
四国	827	76	9.2	670
九州	25,200	1,560	6.2	16,400
沖縄	2,750	295	10.7	6,780

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

3 豚

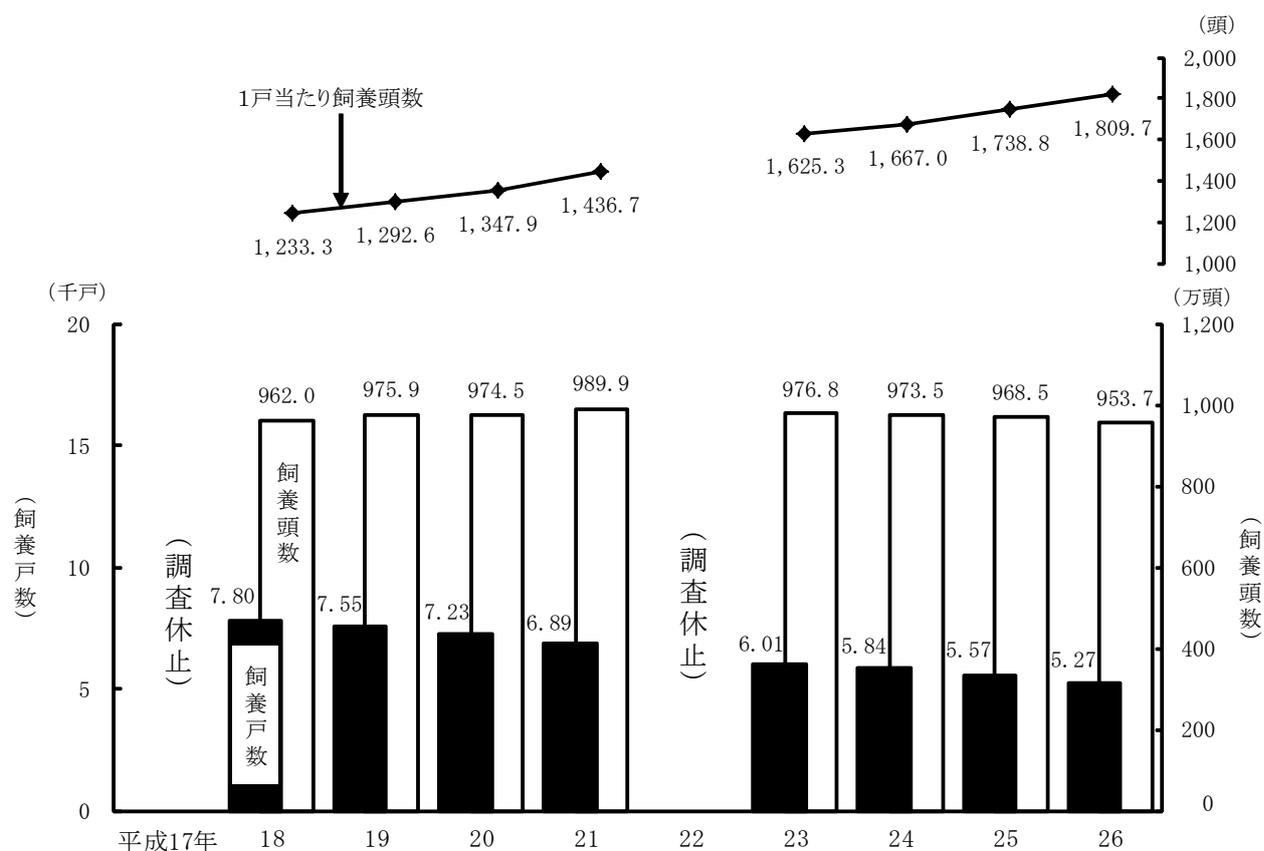
(1) 飼養戸数・頭数

平成26年の全国の豚の飼養戸数は5,270戸で、廃業等により前年に比べて300戸（5.4%）減少した。

飼養頭数は953万7,000頭で、前年に比べて14万8,000頭（1.5%）減少した。飼養頭数の内訳をみると、子取り用めす豚は88万5,300頭で前年に比べて1万4,400頭（1.6%）減少し、肥育豚は802万頭で前年に比べて8万6,000頭（1.1%）減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は1,809.7頭で前年に比べて70.9頭増加し、1戸当たり子取り用めす豚飼養頭数は206.4頭で前年に比べて11.7頭増加した。

図9 豚の飼養戸数・頭数の推移



注：平成17年は2005年農林業センサス、22年は2010年世界農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表12 豚の飼養戸数・頭数

区分	飼養戸数		飼養頭数					1戸当たり飼養頭数	
	飼養戸数	子取り用めす豚のいる戸数	計	子取り用めす豚	種おす豚	肥育豚	その他	1戸当たり飼養頭数	子取り用めす豚
	戸	戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭	頭
実数									
平成 24年	5,840	4,900	9,735.0	900.0	51.9	8,145.0	638.7	1,667.0	183.7
25	5,570	4,620	9,685.0	899.7	49.1	8,106.0	629.5	1,738.8	194.7
26	5,270	4,290	9,537.0	885.3	47.5	8,020.0	583.3	1,809.7	206.4
対前年比									
25/24 (%)	95.4	94.3	99.5	100.0	94.6	99.5	98.6	-	-
26/25	94.6	92.9	98.5	98.4	96.7	98.9	92.7	-	-
構成比									
平成 24年 (%)	100.0	83.9	100.0	9.2	0.5	83.7	6.6	-	-
25	100.0	82.9	100.0	9.3	0.5	83.7	6.5	-	-
26	100.0	81.4	100.0	9.3	0.5	84.1	6.1	-	-

(2) 肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

肥育豚飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）にみると、飼養戸数は前年に比べて1,000～1,999頭の階層で2.1%増加したものの、これ以外の階層では減少した。

また、飼養頭数は前年に比べて1～99頭の階層で7.3%、1,000～1,999頭の階層で2.0%それぞれ増加したものの、これ以外の階層では減少した。

なお、2,000頭以上の階層で飼養頭数の約7割を占めている。

図10 豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

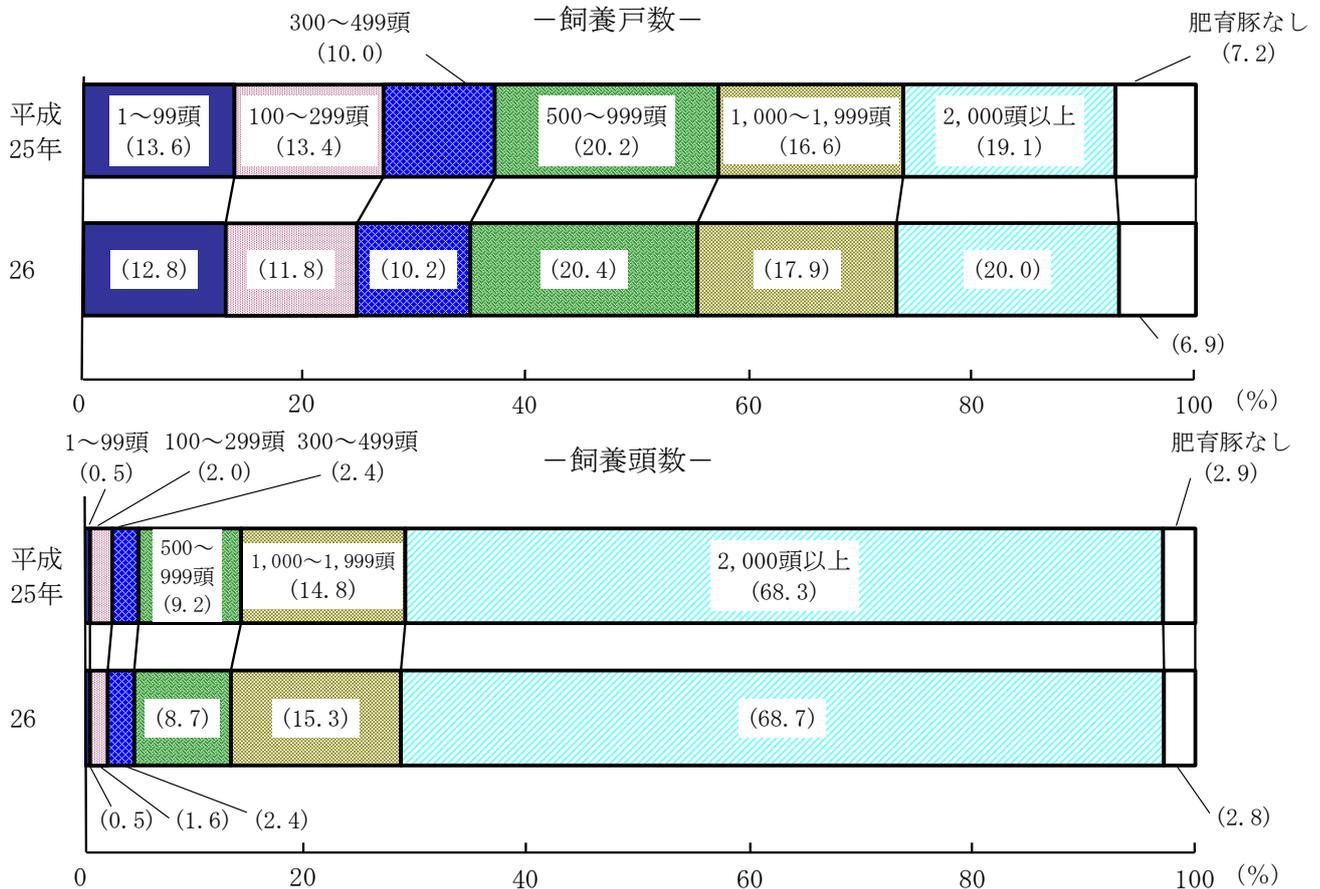


表13 豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	肥育豚飼養頭数規模								肥育豚なし	
			小計	1～99頭	100～299	300～499	500～999	1,000～1,999	2,000頭以上	3,000頭以上		
飼養戸数												
実数	平成25年	戸	5,400	5,010	734	724	538	1,090	896	1,030	630	387
	26	戸	5,110	4,750	654	604	521	1,040	915	1,020	640	354
対前年比	26/25	%	94.6	94.8	89.1	83.4	96.8	95.4	102.1	99.0	101.6	91.5
構成比	平成25年	%	100.0	92.8	13.6	13.4	10.0	20.2	16.6	19.1	11.7	7.2
	26	%	100.0	93.0	12.8	11.8	10.2	20.4	17.9	20.0	12.5	6.9
飼養頭数												
実数	平成25年	千頭	9,643.0	9,360.0	47.7	188.4	234.6	883.2	1,424.0	6,583.0	5,393.0	283.0
	26	千頭	9,499.0	9,231.0	51.2	150.8	224.9	823.9	1,452.0	6,528.0	5,463.0	268.3
対前年比	26/25	%	98.5	98.6	107.3	80.0	95.9	93.3	102.0	99.2	101.3	94.8
構成比	平成25年	%	100.0	97.1	0.5	2.0	2.4	9.2	14.8	68.3	55.9	2.9
	26	%	100.0	97.2	0.5	1.6	2.4	8.7	15.3	68.7	57.5	2.8

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

4 採卵鶏

(1) 飼養戸数・羽数

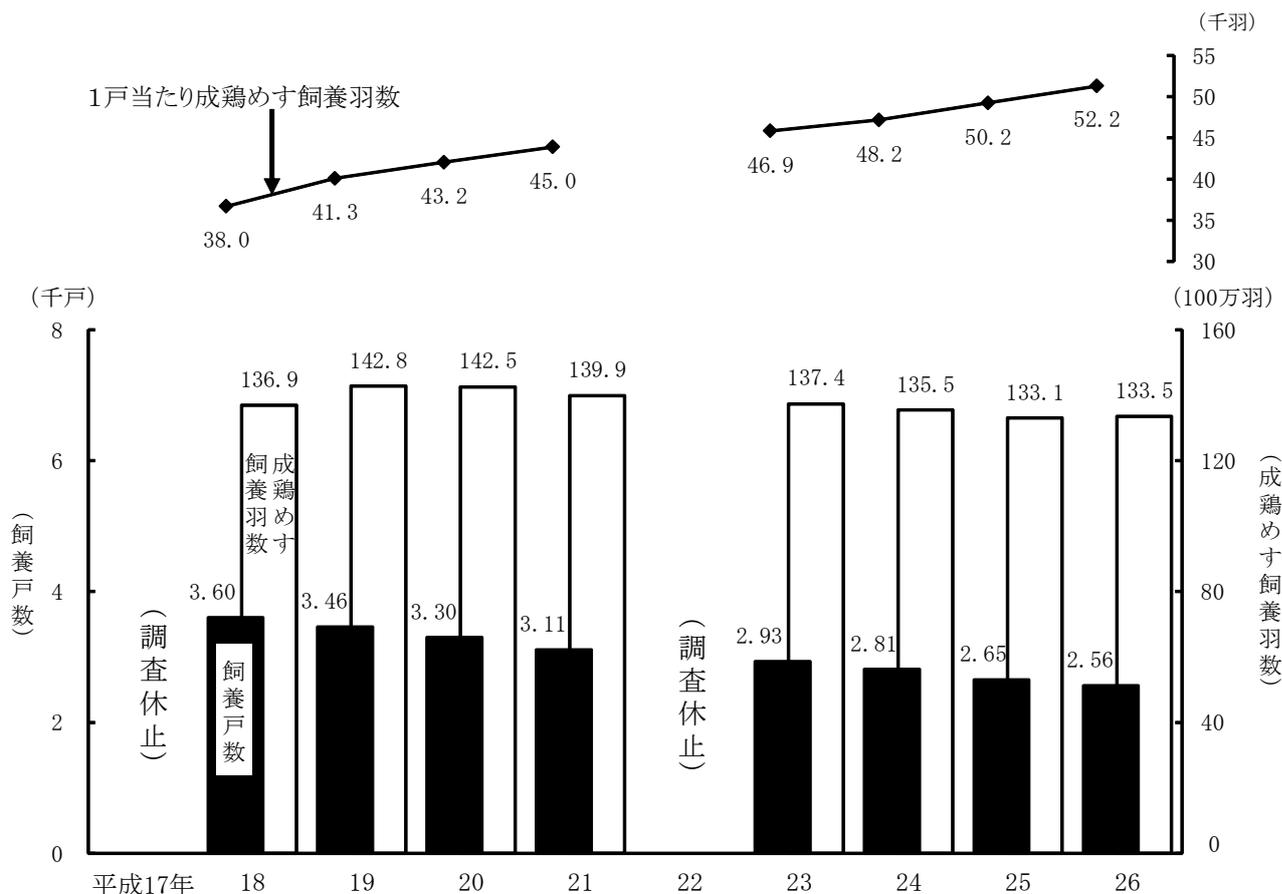
平成26年の全国の採卵鶏の飼養戸数は2,560戸で、飼料価格の高騰による廃業等により前年に比べて90戸（3.4%）減少した。

採卵鶏（種鶏を除く。）の飼養羽数は1億7,234万9,000羽で、前年に比べて11万1,000羽（0.1%）増加した。

このうち、成鶏めすの飼養羽数は1億3,350万6,000羽で、前年に比べて42万1,000羽（0.3%）増加した。

なお、1戸当たり成鶏めす飼養羽数は5万2,200羽で前年に比べて2,000羽増加した。

図11 採卵鶏の飼養戸数・羽数の推移



注：平成17年は2005年農林業センサス、22年は2010年世界農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表14 採卵鶏の飼養戸数・羽数

区分	採卵鶏の飼養戸数	飼養羽数			1戸当たり成鶏めす飼養羽数
		計	採卵鶏(種鶏を除く)	成鶏めす(6か月以上)	
	戸	千羽	千羽	千羽	千羽
実数					
平成 24年	2,810	177,607	174,949	135,477	48.2
25	2,650	174,784	172,238	133,085	50.2
26	2,560	174,806	172,349	133,506	52.2
対前年比					
25/24 (%)	94.3	98.4	98.5	98.2	95.8
26/25	96.6	100.0	100.1	100.3	96.5
構成比					
平成 24年 (%)	-	100.0	98.5	76.3	1.5
25	-	100.0	98.5	76.1	1.5
26	-	100.0	98.6	76.4	1.4

注：採卵鶏の飼養戸数には種鶏のみの飼養者及び成鶏めす1,000羽未満の飼養者を含めていない。

(2) 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

成鶏めす飼養羽数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）にみると、飼養戸数は前年に比べて50,000～99,999羽の階層で2.0%増加したものの、これ以外の階層では減少した。また、成鶏めす飼養羽数は前年に比べて50,000～99,999羽の階層で2.0%、100,000羽以上の階層で2.1%それぞれ増加したものの、これ以外の階層では減少した。

なお、100,000羽以上の階層で飼養羽数の7割を占めている。

図12 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数の構成比

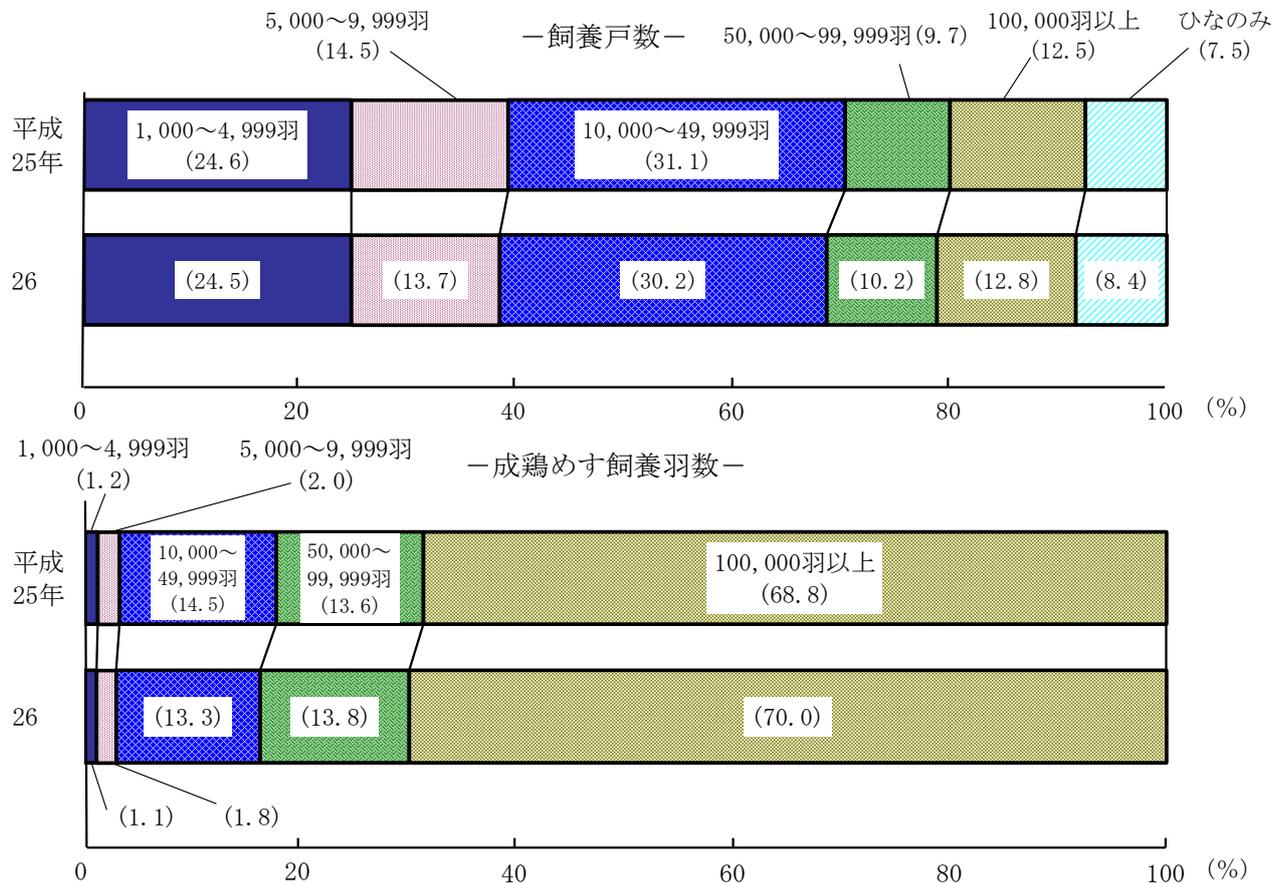


表15 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

区分	単位	計	成鶏めす飼養羽数規模					ひなのみ	
			1,000～4,999	5,000～9,999	10,000～49,999	50,000～99,999	100,000羽以上		
飼養戸数	実数 平成25年	戸	2,630	648	381	817	255	328	196
	26	〃	2,540	622	348	767	260	324	214
	対前年比 26/25	%	96.6	96.0	91.3	93.9	102.0	98.8	109.2
	構成比 平成25年	〃	100.0	24.6	14.5	31.1	9.7	12.5	7.5
	26	〃	100.0	24.5	13.7	30.2	10.2	12.8	8.4
成鶏めす飼養羽数	実数 平成25年	千羽	133,032	1,568	2,595	19,276	18,037	91,556	-
	26	〃	133,453	1,489	2,363	17,735	18,390	93,476	-
	対前年比 26/25	%	100.3	95.0	91.1	92.0	102.0	102.1	-
	構成比 平成25年	〃	100.0	1.2	2.0	14.5	13.6	68.8	-
	26	〃	100.0	1.1	1.8	13.3	13.8	70.0	-

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

5 プロイラー

(1) 飼養・出荷の戸数・羽数

平成26年の全国のブロイラーの飼養戸数は2,380戸で、廃業等により前年に比べて40戸（1.7%）減少した。飼養羽数は1億3,574万7,000羽で、前年に比べて412万3,000羽（3.1%）増加した。

1戸当たり飼養羽数は5万7,000羽で、前年に比べて2,600羽増加した。

出荷戸数は2,410戸で、廃業等により前年に比べて30戸（1.2%）減少した。出荷羽数は6億5,244万1,000羽で、前年に比べて266万3,000羽（0.4%）増加した。

なお、1戸当たり出荷羽数は27万700羽で、前年に比べて4,400羽増加した。

表16 ブロイラーの飼養・出荷の戸数・羽数

区 分	飼養戸数	飼養羽数	出荷戸数	出荷羽数	1戸当たり 飼養羽数	1戸当たり 出荷羽数
	戸	千羽	戸	千羽	千羽	千羽
平成 25年	2,420	131,624	2,440	649,778	54.4	266.3
26	2,380	135,747	2,410	652,441	57.0	270.7
対前年比 26/25(%)	98.3	103.1	98.8	100.4	-	-

注：1 ブロイラーの飼養・出荷戸数には、ブロイラーの出荷羽数年間3,000羽未満の飼養者を含めていない。

飼養・出荷羽数は、年間出荷羽数3,000羽以上の飼養者の飼養・出荷羽数である。

2 2月1日現在で飼養のない場合でも、過去1年間に3,000羽以上の出荷があれば出荷戸数に含めている。

(2) ブロイラーの出荷羽数規模別出荷戸数・出荷羽数

出荷羽数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）に出荷羽数をみると、出荷羽数は、500,000羽以上の階層が約4割を占めている。

図13 ブロイラーの出荷羽数規模別出荷戸数・出荷羽数の構成比

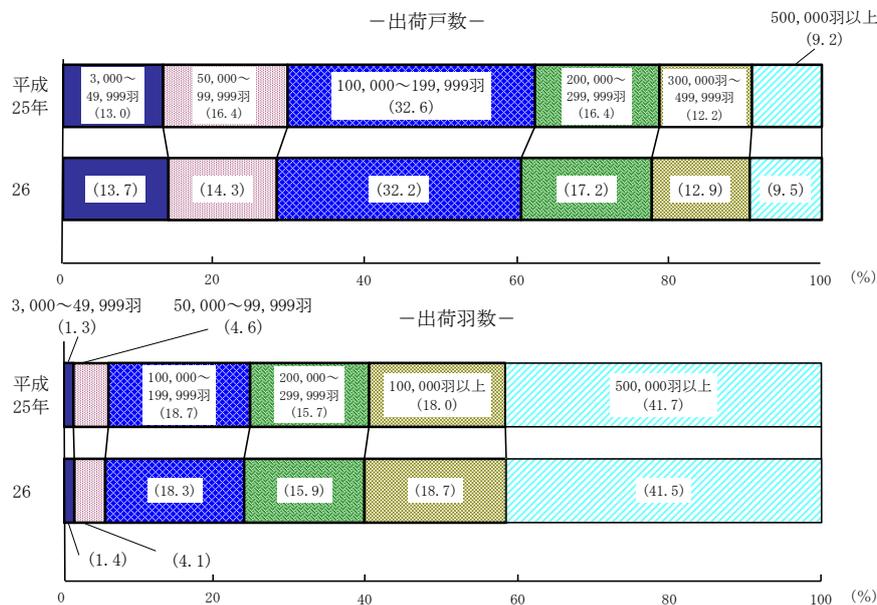


表17 ブロイラーの出荷羽数規模別出荷戸数・出荷羽数

区 分	単位	計	3,000~	50,000~	100,000~	200,000~	300,000~	500,000羽	
			49,999羽	99,999	199,999	299,999	499,999	以 上	
出 荷 戸 数	実 数 平成 25年	戸	2,440	316	401	795	401	298	225
	26	戸	2,410	331	345	776	415	310	230
	対前年比 26/25	%	98.8	104.7	86.0	97.6	103.5	104.0	102.2
	構 成 比 平成 25年	%	100.0	13.0	16.4	32.6	16.4	12.2	9.2
26	%	100.0	13.7	14.3	32.2	17.2	12.9	9.5	
出 荷 羽 数	実 数 平成 25年	千羽	649,765	8,167	29,880	121,803	102,059	117,078	270,778
	26	千羽	652,429	9,234	26,577	119,596	103,977	122,074	270,971
	対前年比 26/25	%	100.4	113.1	88.9	98.2	101.9	104.3	100.1
	構 成 比 平成 25年	%	100.0	1.3	4.6	18.7	15.7	18.0	41.7
26	%	100.0	1.4	4.1	18.3	15.9	18.7	41.5	

注：この表には、学校、試験場等の非営利的組織を含まない。